



# 三気の門

## PORTAL SANKI

NO.30

2025.12.15

文責：佐藤正一

# 受検と学力と生きる力

～ 昔、お世話になった人の息子さんの話 から～

いよいよ、高校入試の季節が到来します。保見中学校の3年生のみなさんもうラストパート。希望する進路の合格を目指してがんばっていることと思います。

さて、昔、私がお世話になった先輩の息子さんの話です。その息子さんは小学校、中学校と大変優秀で先輩の自慢の息子さんでした。ただ、先輩の育て方がいわゆる「ガリ勉教育」。子供の頃は勉強さえしていればいいと塾と問題集の山に向かわせ、ひたすら勉強という毎日でした。昔は知識のみ重視される詰め込み型学力が重視されていたので、そういう勉強の仕方が主流でした。息子さんはまじめに取り組み、三河地区で最難関の高校へ進みました。高校でも友達も作らず、ひたすら勉強ばかりして大学も先輩が勧める東京の難関大学に現役で合格。これから順風満帆の人生が始まる…はずだったのですが、思いもよらぬ顛末を迎えました。



東京に行った息子さんから徐々に連絡が途絶え、心配して見に行ったら、なんと息子さんは部屋にずっと引きこもって大学に通っていなかったのです、燃え尽き症候群というのでしょうか。気力もなく一歩も部屋から出られない。「なぜ一流大学に入ったのに行かないの？」と聞くと「親の言うとおりにこの大学へ入ったからもういいじゃん。僕はもう疲れたよ。何もしたくない……」

結局、大学をやめることになったそうです。それから少しずつ、心のリハビリをして社会復帰に取り組みましたが、その後どうなったかは分かりません。先輩は育て方を間違えたと悔やんでいました。

親にとってのゴールは、子供が大人になり、自分の力で生きていくようになること。高校や大学に行くことはその手段でしかありません。大学や社会では、詰め込み勉強で得た知識だけでは役に立ちません。自分で考え行動する力こそが社会の荒波を超えていく真の力ではないかと思うのです。